

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスやまぶき		
○保護者評価実施期間	2026年2月10日		2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年2月20日		2026年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	10代～70代の幅広い年齢層のスタッフがいる	若いスタッフは児童と年齢が近いから児童の気持ちが分かることもある、年配のスタッフは自身の子育て経験や人生経験からの考察が出来るという様々な年代からの積極的な意見交換、提案を行っている。	ミーティングの頻度を増やし忌憚のない意見交換をどしどしおこなっていきけるようにすることで、児童へのより良い支援に繋げていきたい。
2	敷地内で安全に外遊びが出来る	お天気の良い日や学校の長期休み等は外に出て縄跳びや徒競走をして身体を動かしたり、シャボン玉をして感触遊びをしている。桜の季節にはお花見をしながら外でおやつを食べたり季節を楽しんでいる。夏休みに水を掛け合って水遊びをして涼んでいる。	季節を感じるレクリエーションを工夫していきたい。
3	保護者LINE、スタッフLINEの活用ですぐに連絡がとれる	保護者が気付いたことやご意見をすぐにいただけるよう保護者LINEで連絡がとれるようにしている。いただいたご意見等をすぐにスタッフLINEで共有している。	保護者からいただいたご意見、情報等を共有しより良い支援へ繋がるようスタッフ間の情報共有をより密にしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の学校の児童との交流が出来ていない	まず始めるところの機会が見つけれずにいる	スタッフで意見を出し合い、まず何から始めるかの機会を探る。
2	外部研修への参加の機会が少ない	シフトと合わなかったり、またいつか・・・となってしまうている。	興味のある内容があれば積極的に情報を持ち寄りシフトを工夫して参加の機会を増やす。
3			